

JR東労組新潟

東日本旅客鉄道労働組合新潟地方本部OB会

〒950-0086 新潟市花園1-1-5

OB会ニュース

発行責任者 山崎 次 男

地本OB会 第1回拡大幹事会開催！

当面の取組みについて発表し議論！

9月6日12時より地本OB会は、地本会議室に於いて第1回拡大幹事会を開催しました。

最初に8月31日、薬石功なく亡くなった故渡辺地本副会長に黙とうを捧げた後、幹事会は山崎地本会長の議長で進められ、開催目的について会長は、①、定期総会での方針決定を受けて、当面する課題（高齢化進む中での「相互扶助」などのOB会活動について）、②、各支部総会の成功と情勢認識の一致、③、参議院選挙「打越さぐり」勝利を勝ち取った取組み、④、地本会長、そして本部副会長として長年新潟のOB会を先頭で指導・頑張ってこられたが先の本部総会で副会長を返任された渡部氏の慰労会を行うこと、趣旨を明確にしました。

続いて来賓（本部OB会赤石副会長と中田地本委員長）の挨拶、高橋事務長の方針提起後、活発に議論が展開されました。

特に中田地本委員長からは、『現状組織は未だ意見対立が続いている。『真実の声』なるインターネット上で誹謗中傷し、組織破壊行為に加担している輩が明らかとなった。未だ組織の一体化は終息の兆しが見えない。組織力が低下している現実を踏まえ、組合員としてから議論し信頼を取り戻していくしかない。』との報告がありました。

高齢化の中でのOB会活動の課題

急激に進む高齢化社会の中で、「一人住まい」「老々介護」「買い物難民」「災害対応」などが言われ、私たちOB会も同様な事態

事態が予測できる現状にある、組合員、OB会員として共に頑張ってきた仲間が高齢化の中で、「困っている」「苦勞している」ことがあれば、OB会として出来ること、出来ないかを検討・実行していくとする「相互扶助」の取組みです。

議論では、相互扶助の「相互」ともが高齢化しており、事故なども考慮し、無理せず支援出来ることを検討、実践していくことが重要。信頼関係や仲間意識の前提がないと、支援を受ける側に遠慮が出る。



当面、各支部毎に「ハサードマップ」的なものを、個人情報に気を付けながら、創意工夫作成することが決定されました。また、健康維持のため、各支部の実情に合った行事・レクの企画を行う。社会保障の充実・改善を目指し取り組みことも決定されました。

「打越」勝利に向け各地で奮闘！

野党と市民の共闘で取り組まれた参議院新潟地方区選挙、しかし内実は一体化とは言えない状況の中で、東労組OB会、あるいは9条連として各支部で会員が力を発揮し、大きな評価を得ている。

国会は改憲勢力の2/3を許さなかったものの過半数を超えている。安倍政権は過半数の支持を得て、9条改憲に執念を捧げている。今後とも9条改憲反対、柏崎刈羽

原発の再稼働反対に向け取り組んでいく。また、今後の地本OB会総会の在り方については、次回の幹事会で議論・決定していくよう注意統一し終りました。

渡部氏 慰労会

原南・よむじ「」で、渡部氏の慰労会を開催し、長年の労をねぎらいました。



渡部氏からは、自身の専従指定問題の思い出や、現在は地域で活動しており、今後9条改憲反対で頑張る決意が語られました。

核兵器廃絶1000万署名

表題の署名を連立、JR総連の要請により取り組めます。各支部から要請が行きますので、ご協力をお願いします。

渡辺副会長の補充について

地本OB会副会長であった故渡辺氏の補充については、来年度の定期総会までは空席のままとする事が確認されました。ご協力をお願いします。

会費納入御礼

今年度の会費徴収をお願いしていただき、皆さんのご協力により徴収作業(490名)を終了することが出来ました。ご協力に感謝致します。

支部総会開催！ 直江津支部

9月10日(日)13時より、直江津駅前「鹿まつ」にて各の参加で開催しました。

武田支部委員長は「サウジアラビアの石油施設への攻撃で米露とイランの戦争になりかねない」という世界情勢「にある中で、「安倍政権の支持率が50%超で憲法改憲に向け一歩進んでいる」といふ「マスコミ」の沈黙などの危機感を訴える」と共に「支部OB会として、①拙言会費対策、②平和憲法を守る戦い、③反原発の取組み、④推薦候補の当選を期す」と、挨拶がなされました。

来賓には、地本OB会から高橋事務局長、上越連連山崎事務局長、梅谷衆院選候補が参加し、それぞれの立場からの挨拶がなされました。

質疑では、「OB会は我々が会える場所であり、大切にしていきたい」と年間3万人の自殺、学校給食しか食べられない児童の増加、しかし頼れる政党がなく、安倍自民党に票が行く「少人数でも出来る」活動の検討を「の発言があり、全参加者の共感を博していました。

武田委員長以下、役員全員の留任を決定し、総会は終了しました。

第2部懇親会で、大いに飲み、大いに語り大盛況で終わりました。以上



長岡支部 40名が出席

9月20日(日)14時30分から朝日「ほろ蔵」にて、第16回定期総会を開催しました。

総会は議長上野井修さんを選出、大久保支部会長の挨拶では、①「現役組の状況」振り返られず、OB会を是非残してほしい」との声が多くあり、一年間頑張ってきました。



②「夢懸」打越さんへ「勝利出来た、しかし安倍首相は憲法改正の議論を進めようが民意」として野党の取り込みを図っている。更に口論の対立を繰り返す重要の増大、戦争できる国となり、9条の改憲に懸念。③「高齢化で免許証の自主返納が言われ、免許扶助が必要になってくる。意見を聞かしてほしい、の挨拶がなされました。

来賓の地本山崎委員長は、①「OB会としての「総会扶助」と健康維持、②「打越勝利でOB会への期待高まっている、③「安倍一強政治を許さないの挨拶がありました。

なお、長年支部会費を「1万円」それで降も幹事として頑張ってくれた村山さんへお褒めいただきました。

2部では、新たな会費を「お酒と話」に花が咲き、大いに盛り上がりました。以上

新潟支部 30名が出席

9月20日(日)15時より新潟駅前「ソノリス」で第16回総会を開催しました。

議長は議長上野井修さんを選出、来賓には、地本OB会沼田副会長、新潟地域連連山崎事務局長(2部から参加)、県連連山崎事務局長、山崎事務局長、またメッセージが一通(打越さんへ夢懸委員長へ、山本さんの新潟県選立候補者)よりありました。

田中委員長より、①「南又県選では時間が足りず惜敗したが、「打越」は勝利できた。今後9条改憲を許さないための取り組み。

②「柏崎刈羽原発の再稼働問題で「農行」が怪しい。再稼働ありとそれを許そうとする動きがある。③「総合扶助の議論を深める等の挨拶がありました。



質疑では、「市議選を取組んだ感想と若者の意識」「新潟地区での野党共闘の取組み」「選挙活動」あたって支部での憲法統一の場が必要「方針書」9条連の記述がない。年金などの学費の削減を「などの発言、一部幹事の意見承認し、総会は終了しました。

2部の懇親会では、新たに支部OB会に加入した仲間(横浜地本OB会から新幹線車両センター分會OB会)転入を喜び、大いに盛り上がりました。以上

秋の地本OB会「ゴルフ大会

最年長 齋藤さん が絶好調！

9月30日、大新瀧カントリークラブ「三条コース」において、第16回地本OB会主催の「ゴルフ大会」が開催されました。

天気予報では雨も心配されましたが、参加者の精進が良かったのか曇天の中、楽しんでプレーする姿が見られました。

最年長の齋藤さん(70歳)が絶好調。ショットホールではこの「ダブル」のパーティを決めるなど大活躍でした。周りの人からは「80歳位になってもゴルフを楽しみたいもんだ」という声があふきました。

表彰式も終わりの最後に山崎OB会長の「これから健康寿命を延ばし、ゴルフを大いに楽しもう」とのシメで再会を期し終了しました。

- 成績(敬称略)
- 優勝 山崎 次男 (地本「マスプロ」)
- 2位 藤野 和男 (豊田)
- 3位 齋藤 昭一 (豊田)



以上